

「環境未来都市」構想 推進フォーラムin中部

集中投入

国内外の
ベストプラクティス

環境未来都市

成功事例の
普及展開

生活の質の向上

「新成長戦略～「元気な日本」復活のシナリオ～」（平成22年6月18日閣議決定）において、21の国家戦略プロジェクトのうちの一つとして「環境未来都市」構想が位置付けられています。これを受け政府では、「環境未来都市」構想を具体化していくため、「環境未来都市」構想有識者検討会を設置し、コンセプトに関する議論を重ね、今般、その整理を行いました。「環境未来都市」構想とは、限られた数の特定の都市・地域において、世界に類のない成功事例を創出するとともに、成功事例の国内外への普及展開による需要拡大、雇用創出、国際的課題解決力の強化を通じて、環境・超高齢化対応等を追求した人間中心の都市を目指すものです。また、社会経済システムイノベーションを引き起こすことにより、「誰もが暮らしたいまち」、「誰もが活力あるまち」を実現し、都市・地域レベルから持続可能な経済社会構造へと変革を遂げることを目指すものです。

本フォーラムでは、この「環境未来都市」構想の趣旨を紹介するとともに、有識者と経済界の代表をお招きし、「環境未来都市」構想を切り口とした持続可能な今後の都市・地域の在り方についてのディスカッションを行います。

5月20日（金）14:00～16:30
名古屋商工会議所

◆プログラム◆

14:00

14:05～14:35

14:35～14:50

14:50～16:10

16:10～16:30

16:30

開会

「環境未来都市」構想コンセプト説明

国外事例の紹介

水口哲氏（株式会社博報堂ディレクター）

パネルディスカッション

パネリスト：村上周三氏、林良嗣氏、松下雋氏

質疑応答

閉会

◆パネリスト紹介◆

村上周三氏

（コーディネーター兼）

工学博士。東京大学生産技術研究所所長、デンマーク工科大学客員教授、慶應義塾大学理工学部教授を歴任。現職独立行政法人建築研究所理事長。「環境未来都市」構想有識者検討会委員長。

林良嗣氏

工学博士。東京大学工学部助手、名古屋大学工学部助教授、同大学大学院工学研究科教授等を歴任。現職、名古屋大学大学院環境学研究科教授、同研究科付属交通・都市国際研究センター長。専門は、都市持続発展論。

松下雋氏

1969年日本碍子（現日本ガイシ）株式会社入社。同社常務取締役、専務取締役、代表取締役社長、中部電力株式会社取締役などを歴任。現職、日本ガイシ株式会社会長、中部経済連合会副会長。